



平成 27 年 12 月 31 日

発行: ながさき県北地域医療教育コンソーシアム

<http://agonet.jp/>

### 青洲会病院

平戸市の青洲会病院で、普段の研修先の病院と様々な点で異なる医療を体感致させて頂きました。

1番感じた事は、医療者と患者・家族の距離感が近く、信頼関係が深い事です。医師も患者も少なく、お互いを知り、お互いを大切にされています。地域柄患者の多くは高齢者で、医師だけでなく、看護師・リハビリ師・介護士・栄養士など Team で介入し、患者の QOL 上昇に貢献していく...その事に凄く心地よさを感じました。院長からも「医療は目的ではなく手段」という言葉を頂きました。医師になり、急性期病院で必死に働いた内に大切な事を忘れていました。それは、病気にばかりを診て、人を看っていない事です。母校の「病気を診ずして病人を診よ」を深く思い出される事となりました。「この土地を愛し、先祖代々の文化継承に努められる住民のお役に立ちたい」と遣り甲斐を深く感じる一方で、1人で孤立しては続かない...従って、体制維持のために Team 一丸になる。「人との繋がり」の大切さを感じました。医師の初心、この1ヶ月学んだ事、母校と同じ「Fish 哲学」を一生忘れず日々精進して参ります。  
樋口雅樹(静岡済生会総合病院)

### 生月病院

生月病院で1ヶ月間の研修をさせて頂きました。

午前中は外来診療を勉強させて頂き、午後は往診や、地域の学校での保健活動への参加などをさせて頂きました。これまで経験することができなかった地域医療に携わることができ、大変勉強になりました。また、海と山に囲まれた生活がとても新鮮で、いい経験になりました。全く釣れませんでした。休日にした釣りも楽しかったです。

生月病院の先生方、スタッフの皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。1ヶ月間大変お世話になりました。また、何らかの形で生月に来たいと思います。今月、経験させて頂いたこと、学ばせていただいたことを活かし、今後もがんばっていきたいと思います。

源馬拓(横浜労災病院)

### 平戸市民病院

今月は女子3名で研修させて頂きました。地域医療をみるのは、横浜生まれの3人にとっても新鮮なことだけでした。

綿密なスケジュールの中で、診療以外にもメディカルの方々の仕事内容なども体験することができた地域の包括的医療について深く考えることができました。週末には平戸をはじめとして九州観光に出掛け、なかなか来ることのできない地域も満喫することができました。

1ヶ月間、平戸市民病院の皆様には大変お世話になりました。とても貴重な経験ばかり、ありがとうございました。

奥山志織(横浜市民病院)

熊谷有香(横浜労災病院)

渡部晃子(北里大学病院)



### 柿添病院

研修期間を以前より心待ちにしていました。短い期間でしたが、改めて柿添病院、平戸で多くの事を経験できました。地域の砦として多くの患者さんが先生方を頼りに朝早くから毎日来院され、また先生方も一人一人に丁寧に診察されている姿が印象的でした。訪問リハビリの際、生来健康でありながら多発性硬化症を発症した末期の患者さんが意思疎通できず両親の介護を受けている状態を見て、非常に複雑な気持ちになりました。これまで急性期疾患にばかり目を向けがちでしたが医療は急性期だけでなく、その後を含めて成り立つという認識を持つべきで周囲の支えがあったこそだと痛感しました。日々充実し、三食の食事の徹底と睡眠時間の確保で体調良く過ごせました。病院の近くには温泉や絶景、平戸牛や海産物等の名店が多く新しい店を発見できました。平戸大橋や生月大橋は素晴らしいです。この一か月を今後活かしていきたいと思っております。お世話になった皆様方どうもありがとうございました。

副島悠(九州中央病院)

土居靖宗(九州医療センター)